

KUNST ARZT では、初となる  
ナカスジミナミの個展を開催します。  
ナカスジミナミは、紫色を自身と重ね合わせて  
表現するアーティストです。  
高校生の時、病気で紫色のアザができた経験から、  
紫色の衣類を纏い、マーキングするかのように紫色  
の作品を展開してきました。  
2021年の大学の卒業制作展では、紫色の服をつなぎ  
合わせたパッチワークが、作家自身だけではなく、  
京都京セラ美術館の大きな壁面を覆う作品「私は紫  
になり、ここが私になる」を発表しました。  
ご注目ください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



私は紫になり、ここが私になる  
2021

#### 経歴

1999年 奈良県生まれ  
2021年 成安造形大学現代アートコース卒業  
現在、成安造形大学 田中秀彦ゼミ研究室在籍

#### 個展

2020年 ムラサキか。(成安造形大学ギャラリーキューブ / 滋賀)  
2021年 Purple becomes me.This place will be me.(成安造形大学バスストップギャラリー / 滋賀)  
2022年 群らになって咲きつづける身体 (TANADA ピースギャラリー / 京都)

#### グループ展

2020年 ONCE IN A BLUEMOON (堀川御池ギャラリーA・B・C / 京都)  
2022年 成安造形大学卒業制作展 2022 (京都京セラ美術館 / 京都)  
2022年 CROSS OVER Vol.40 (Sway Gallery / フランス)

2023年2月14日(火)から19日(日)

12:00から18:00

会場: KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

### アーティスト・ステートメント

高校生の時病気で紫のアザができ、  
自分がこの世界に存在しているという確認が出来た経験から紫を纏い、  
紫を使用した作品を展開しています。  
紫が私の身体を超え、広がる事で私は私でいられるのです。

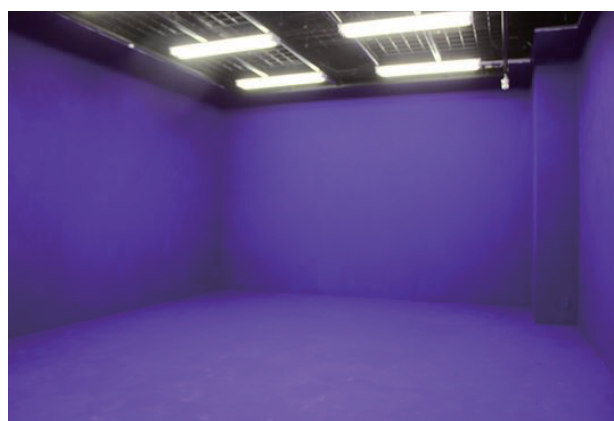


群らになって咲きつづける身体

2022

紫の古着・トルソー

紫の語源である「ムラサキ」という植物が群らになって咲く事を元に、人間の皮膚が再生する時に感じる「生きてやる」という強い意志をイメージして、パッチワークの生地（自分の皮膚）を切り離し会場全体に散らばせたインスタレーション。



ムラサキか。

2020

絵具、8450×5517×3555

アザが身体を侵食するように、身の回りの景色や物を紫の絵具で変えていく。真っ白な個展会場のギャラリーを紫に塗り替えた。



止まらない進まない

2020

ミクストメディア、2000×1800×1300

信号機の黄色に違和感を持った。赤と青の中間色である紫色に変えて止まらない進まない選択肢を与えた。



道をムラサキか。

2020

映像

ムラサキか。シリーズの一つ。

紫のチョークを持ち、道を塗り替える。